

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立大垣南高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和4年2月7日(月)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者委員

会長	竹内 治彦	岐阜協立大学学長
委員	五十川智宣	大垣ケーブルテレビ取締役、同窓会副会長
	今村あおい	(株) 新生メディカル取締役部長
	小林 月子	サンビレッジ国際医療福祉専門学校校長、元岐阜大学教育学部教授
	小山亜希子	(社福) 楽山・杜の会理事
	酒井 吾郎	洲本連合自治会長
	竹中 拓也	太平洋工業株式会社人事開発部長
	藤田万喜子	岐阜聖徳学園大学教育学部教授
	三輪 賢司	岐阜県公民館協会会長、元岐阜県小学校校長
	栗田 俊彦	大垣南高等学校育友会長
オブザーバー	伊藤 秀光	岐阜県議会議員
学校側	藤吉 和彦	校長
	楠井 徳之	教頭
	北村 直也	事務長
	北原 剛	教務部長
	鈴村 元宏	生徒指導部長
	久保田信孝	進路指導部長
- 5 会議の概要
 - ・ スクール・ポリシー(案)については、委員の承認が得られた。
 - ・ 自己評価・学校関係者評価報告書についての意見・要望・評価について
 - 学習指導
 - 意見1：生徒の発表から、生徒自身が主体的に取り組んでいるとわかる。指導がよく行き届いていると感じられる。この雰囲気さらに広がっていくことを期待する。
 - 意見2：公開授業や研究授業は生徒にとって良い機会であるので積極的に実施してほしい。
 - 意見3：家庭学習に積極的でない生徒の指導が大切だと考える。
 - 意見4：これからの社会が必要とする「自ら主体的に考え、積極的に行動する」生徒を育成しようと職員が知恵を絞って取り組んでいることを高く評価する。
 - 意見5：今後も、高い志を持ち、自ら学ぶ生徒の育成を図り、どの生徒も「自立」させてほしい。
 - 意見6：ICTを活用すれば、生徒が主体的、積極的になるのか、学習時間の確保につながるのかなど、検証する必要がある。アンケートの結果だけで全体の傾向を断定するのはやや短絡的ではないか。
 - 生徒指導
 - 意見1：制服や、ジェンダーの問題等生徒と向き合い、考えなければならぬことはたくさんある。問題から解決に至る過程で生徒の自発的な行動が出てくるとよい。
 - 意見2：生徒が困っていることをため込まず相談できる体制づくりが生徒・教職員双方にとって非常に大切である。
 - 意見3：コロナ禍による家庭環境の変化が生じている生徒への支援をお願いしたい。
 - 意見4：生徒の交通安全や身だしなみ、人権意識の涵養などを職員の中で情報共有できている。
 - 意見5：生徒自らが主体的に考え、積極的に行動するように指導ができていればさらに良くなる。
 - 意見6：来年度から高等学校で精神疾患等についても指導事項になり、生徒が今まで以上に自分や周りの人々の心の不調について理解し、他者を思いやることにつながることを期待する。
 - 意見7：マナーを身につけた品格のある生徒が増えており、さらに仲間とともにお互いに高めあうことの喜

びを味合わせる教育をお願いしたい。

○ 進路指導

意見1：大学に合格するという目標だけでなく、さらに社会で活躍するために社会人外部講師の特別講座はとても効果的だと考える。

意見2：将来の希望が具体的な生徒、将来の展望がまだ描けない生徒などさまざまであるが、大学進学だけが目標とならないようにしてほしい。

意見3：保護者、学校、生徒が密に連絡を取って、生徒のよりよい進路選択をバックアップしていることがよくわかる。

意見4：同じ内容でも外部人材から聞く話は説得力がある。生徒の意識を変化させるためにも必要である。

意見5：生徒が社会の変化を読み解きながら、自らの関心や適性を知り、社会貢献への志を持ち、自ら考えて決断するプロセスを大切にしてほしい。

意見6：国公立大学に限らず、特色のある教育をする様々な学校が存在していることも目を向けてほしい。

意見7：生徒と共に保護者の理解を促し、自己実現、志望校への進学に向けた一層の指導・助言・励ましをお願いしたい。

6 会議のまとめ

委員から本年度の学校運営の振り返りをもとにした来年度の学校運営への意見を得られた。アンケート等を通じて本校に対する高い期待を職員に還元することで、来年度の具体的な行動方針としたい。今後は書面開催でなく、対面での開催が望ましい。